

[2016年11月18日]

鉄建建設株式会社 経営戦略室 広報部

東京都千代田区三崎町2-5-3 〒101-8366

TEL 03-3221-2297 FAX 03-3221-2379

2016年度 全国技術発表会を開催しました ～17日に建築、18日に土木がそれぞれ開催～

■鉄建建設株式会社（本社：東京都千代田区、社長：林 康雄）は、2016年11月17日に建築、2016年11月18日に土木の2016年度全国技術発表会を開催しました。毎年開催している技術発表会で例年同様、東京千代田区の本社ビル会議室で全国の社員が様々なテーマの発表をおこないました。



冒頭、挨拶を行う相越信秀 建築本部長
(17日 建築技術発表会)



冒頭、挨拶を行う林康雄 社長
(18日 土木技術発表会)

■全国建築技術発表会

発表会には全国の建築職社員約90名が聴講参加しました。また、発表会の様子はテレビ会議システムを用いて全国の8支店へ配信を行いました。冒頭、相越信秀（取締役常務執行役員 建築本部長）は「本日の発表は、日頃の現場での創意や工夫によってさまざまな課題を克服していった成果を発表する場です。今回の発表をきっかけに、一人一人が技術というものを意識し、向上させるきっかけとしてください。技術力の向上は顧客の信頼の向上、ひいては利益率の向上にもつながります。」と挨拶を述べました。

発表内容は以下の通りです。(1)海外建築工事報告（ラーショー総合病院新築）、(2)長大スパントラス梁架構の鉄骨工事における施工留意点、(3)仙台駅東口ホテルでの採用工法について、(4)ベースパック柱脚工法の紹介と施工実績、(5)高低差を活用した一体型校舎の施工について、(6)屋上漏水補修工法の選定と施工について、(7)支障設置のためのスラブジャッキアップについて、(8)スポーツ棟大屋根における空中施工への挑戦、(9)福井地方検察庁における技術提案・得意な施工について（以上9テーマ）

■全国土木技術発表会

発表会には全国の土木職社員約100名が聴講参加しました。また、発表会の様子はテレビ会議システムを用いて全国の8支店へ配信を行いました。冒頭、林康雄（代表取締役 社長）は「今年度、当社では土木技術部門に技術セクションごとの部署を設けるなど、部門強化を行いました。現場支援や技術開発のほか、技術部門の人材育成に大いに力を発揮してもらいたい。現場の技術力を強化



し受注につなげていく、そういった一連の流れの中に今回の発表があると考えています。」と述べました。

発表内容は以下の通りです。(1) 鋼管杭打設とかんざし桁架設におけるVE提案とその成果、(2) 情報通信技術の状況と土工事での活用について、(3) 大地震から本四連絡橋を守る!!、(4) 営業線に近接した竹割土留、大口径深礎の施工、(5) 格子枠吹付け工の寒中施工、(6) ニューマチックケーソン工事におけるエアブロー対策と沈下掘削の精度管理、(7) 背面平滑型トンネルライニング工法について、(8) 国指定史跡である常磐橋の架替について、(9) にしごうトンネル施工における掘削方式の変更、(10) 3線4主桁の工事桁架設におけるリスク対応について、(11) 走行式ジブクレーンを使った施工報告、(12) ニューマチックケーソン基礎工法におけるトラブル事例、(13) 当社の技術力向上への取り組み（以上13テーマ）

■当社では技術発表会の内容をTV会議システムやイントラネットでの資料公開で情報共有し、全社で技術力の向上をめざしています。

以上